

**令和6年度大学・高専機能強化支援事業**  
**(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)**  
**事業概要**

令和6年2月申請時点

**1. 基本情報**

大学名	聖泉大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	滋賀
大学全体の総収容定員	640名	※令和5年5月1日時点	
学部学科 組織構成	(令和5年5月1日時点) 看護学部(看護学科) 人間学部(人間心理学科) ※1  ※1 人間学部は、令和8年度末をもって廃部となります。(令和6年度から募集停止)		
事業計画名	聖泉大学人間情報工学部人間情報工学科(仮称)設置計画		

**2. 事業概要**

<p>建学の精神である「人間理解と地域貢献」のもと、Seisen Digital Global Schemeを推進する。 身につけた高度なデジタル技術やデータ活用能力を生かして地域の課題を明らかにし解決に貢献できる地場人材の育成を図る。既存学部の知的資源を用いながら地方の暮らしに快適さと心身の健康をもたらすため「健康と発展」をキーワードに教育研究を行い、マクロ的視座・ミクロ的視座から医療現場のDX化推進、地域の新たな産業の創出やアントレプレナーとして地域をけん引する人材を育成するために新たに入学定員65名の人間情報工学部を令和9年4月に開設予定である。急速なグローバル化・超高齢化社会に向け、地域の活性化に必要な住民の社会参加寿命の延伸と地域産業の成長に貢献するために、海外(大学や企業)交流の促進、健康情報の科学的な分析と工学的なシステムの構築、生活をデザインするヘルスデータ及びマーケティングデータの活用、地域課題の複雑化に対応するためのPBL型授業やプロジェクト学習に加え、企業へのインターンシップ、文理を融合したSTEAM教育を取り入れた教育体制を整備する。</p>
--

**3. 本事業で新たに設置等を行う組織**

改組予定年度	令和9年度
認可申請・届出の別	認可申請
改組内容	学部の新設
設置等組織名	人間情報工学部人間情報工学科(仮称)
設置等組織の学位分野	工学関係   経済学関係   -   -   -   -
当該学部等の所在地	滋賀県彦根市
入学定員	新設予定
収容定員	新設予定
入学定員の増加数	65名
他学部等の入学定員の減少数	75名

事業計画名 聖泉大学 人間情報工学部 人間情報工学科（仮称） 設置計画

基本情報

改組予定年度	令和9年度（4月～）	設置等組織名	人間情報工学部人間情報工学科（仮称）	入学定員増数（合計数）	65名
所在地	滋賀県彦根市	改組内容	学部の新設	入学定員減数（合計数）	75名



事業概要（概要・コンセプト）

- 建学の精神である「人間理解と地域貢献」のもと、【Seisen Digital Global scheme】（聖泉大学版SDGs）を推進
- 高度なデジタル技術やデータ活用能力を生かして地域の課題を明らかにし解決に貢献できる地場人材を育成
- 地方の暮らしに快適さと心身の健康をもたらすため「健康と発展」をキーワードにマクロ的視座・ミクロ的視座から医療現場のDX化推進、地域に新たな産業を創出
- アントレプレナーとして地域をけん引し、新しい価値を創造する人材を育成



社会や地域のニーズ・課題

- Society5.0時代において、地域社会課題への対応に俯瞰的な視野で物事を捉え、地域社会を活性化できる人材の必要性
- 平均寿命日本一の滋賀県が取組む「健康寿命延伸プロジェクト」の充実を、デジタル技術やAIデータの活用によって実現しようとする人材の必要性



多様な入学者の確保

- 理工系学部を有する海外交流連携大学からの留学生受入
- 履修証明プログラム導入による社会人の転職支援
- 県内高校との高大連携による出前講義や体験授業の実施
- 健康づくりプロジェクト（例：大河ドラマに想いをせ城下町を歩く（ウォーキング））での地域貢献
- 【文科省指定】WWLコンソーシアム連携校（拠点校：彦根東高等学校）に先取り履修科目を提供

＜人間情報工学部 設置構想協議会（プラットフォーム）開設予定＞

- ◆ 組織（予定）：  
滋賀経済団体・上場企業、滋賀県健康医療福祉部、連携病院、彦根市、彦根商工会議所、稲枝商工会（地域住民）、学識経験者、聖泉大学
- ◆ 内容：  
教育課程、人材育成、学外演習及びインターンシップ、連携事業、地域貢献活動など

①【Seisen Digital Global scheme】の推進

◆ AI・データ活用によるイノベーション、グローバル化

- ・プラットフォーム連携でのイノベーション推進
- ・地場産業の活性と、雇用の創出

社会実装の推進

新規事業創出の支援

◆ 企業のデータ利活用人材育成

- ・各社のデータマーケティング支援
- ・各社のイノベーション戦略の展開



教育体制整備

- 情報通信環境（整備中）及びビッグデータ分析等を行う実習施設整備
- PBL型授業が展開可能な教室環境整備
- データ（ヘルス/マーケティング）収集・解析・医療健康・会計経営経済等に関わるカリキュラムの構築
- 医療機関・企業・行政へのインターンシッププログラム構築を通じてデジタル化した街づくりの貢献
- 地元企業が海外進出している先でのインターンシップ提携
- 海外大学への留学プログラム促進
- 授業期間の弾力化を図り学生の俯瞰的な活動を支援



地域・大学連携

- 医療機関（教育連携協定締結）及び経済団体機関へのインターンシップ（タイプ3）の必修化
- 海外大学（交流連携協定締結）との連携交流拡充
- 医療機器メーカーとのVRエンジニア技術等についての協議継続
- 特定成長分野人材を必要としている県内企業との産学連携を含めた外部資金獲得増
- 医療・介護機関との連携によるデータ解析から人間の健康づくりをサポートし、PHR（Personal Health Record）に基づいた新しい価値やソフトやアプリ等の開発

② デジタル・イノベーションによる地域課題解決への挑戦

◆ 県市町との連携

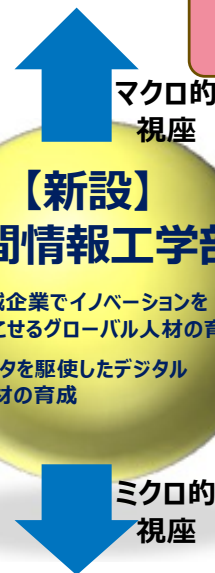
- ・データヘルス計画の実施サポート
- ・健康長寿社会推進への提言

社会保障費増加の抑制

◆ 地域医療機関との連携

- ・各機関による医療DX化の推進
- ・データ活用による医療の質的向上
- ・地域医療のBCP対策

地域社会発展への貢献



学修目標・選抜



- 数理・データ・AI教育プログラム導入認定制度（MDASH）申請
- 診療情報管理士、医療情報技師、ドクターズクラークなどの資格取得を目指す
- 問題設定からはじまるPPDACサイクルの推進
- 文理融合のSTEAM教育の推進（一社）PLIJへの参画（予定）
- 総合型選抜など本学独自で多様な入試制度構築（例：海外留学枠入試制度）
- （一社）日本技術者教育認定機構（JABEE）による教育プログラムの編成および展開を検討